

ホルンの魅力に魅せられて！



山内 健さんは、高校卒業後、単身ドイツに渡り今でも現地でホルンの勉強を続けています。高校時代から粘り強い姿勢で音楽に向き合い、オーケストラ入団の夢を追い続けています。帰省の際は必ず母校を訪ね、近況を報告してくれます。ユニークなキャラクターは今も健在で、先日は手作りの FACEBOOK（友人の顔写真とコメントを書いた手作りノート）を見せてくれました。（笑）

履歴；

1986年大分県佐伯市出身。

大分県立芸術文化短期大学附属緑丘高等学校（現、大分県立緑丘高等学校）、フランクフルト音楽院、デトモルト音楽大学を経て、現在はフランクフルトの国際アンサンブル・モデルン・アカデミー（Internationale Ensemble Modern Akademie）にて現代音楽を学ぶ。

2010年、イタリア、モンテプルチャーノで開かれたリッチ宮殿音楽祭のアカデミーオーケストラに参加。

2011年、オランダ国立青年管弦楽団に参加。オランダ国内とベルギーを演奏旅行。

2011年、国際青年管弦楽団アカデミーに参加。バイロイトを含む、ドイツ国内を演奏旅行。

2012年、ドレスデンで開かれたモリツブルク音楽祭アカデミーに参加。ドレスデン、ベルリン等の都市で室内楽とオーケストラの演奏会に参加。

これまでホルンを高橋文隆、清水万敬、大野総一朗、ノルベルト・シュテルツ、ヨハネス・オッターに師事。